

令和8年度

川崎市立東高津小学校

学校説明資料



令和8年5月1日（金）

学校説明会資料 目次

- 1、令和8年度 川崎市立東高津小学校 教育活動
- 2、各学年の目標
- 3、校内研究
- 4、キャリア在り方生き方教育
- 5、児童指導・児童支援教育
- 6、防災教育
- 7、保健室より
- 8、食育（給食指導）



・教育関係法令
・学習指導要領等
・かわさき教育プラン

学校教育目標

考えよう やってみよう
みんなの本気が明日への一歩

- ・自分も相手も大切にすること
- ・夢や希望をもって一生懸命に取り組む子
- ・自ら学び、自ら考え、互いに高め合う子
- ・自分らしく健康な子
- ・地域とつながり貢献する子

今年度の重点目標

A 多様な価値観を認め合い自分も相手も大切にしよう
【人権】

B よりよい人間関係、社会参画、自己実現を目指そう
【児童会部会】

C 主体的、対話的で深い学びを実現しよう【学習】

D 誰もが自分らしく安心して心身を育む環境をつくらう【指導・支援】

E 安全に地域と共に歩む学校づくりをしよう【情報・安全】

重点にかかると具体的な取組

- ① 子どもたちが安心して学校生活を送ることができるようにするために、人権尊重教育を充実させ、一人一人の自己肯定感や有用感を高め、自信をもって生きていく姿勢や、お互いを尊重する心豊かな子どもを育てる。
- ② 自分のめざす「ひがたかっ子」になるための目標設定や振り返り等を行い、「なりたい自分」を大切に「キャリア在り方生き方教育」の推進を図る。
- ③ 地域体験や異学年交流を通じて、思いやりの心や地域への愛着心を培い、多様性を尊重する心情と態度を育てる。
- ④ 共生＊共育プログラムを推進し、互いに認め合い、助け合い、譲り合う心情と態度を育てる。

- ① よりよい生活を送るために、目標に向かって努力する子どもを育てる。
- ② 「自分が」や「自分たちが」と本気になれる対象を見付け、子どもたちが主体的に考えて行動に移せるように、一人一人の意見を聞いたり、伝えたりする場を設ける。
- ③ 学校生活をより豊かなものにするために、学校や学年、学級といった集団全体を見て、自分ができることをしようとする子どもを育てる。
(実行委員や係活動など)
- ④ 子どもの意見が反映されるように委員会活動やクラブ活動での話し合いを充実させ、連携し合ってより良い学校をつくる場の設定をする。

- ① 社会参画に向けた資質・能力を育成する「探究的な学び」を充実させる。子どもたちが自ら課題を見つけ、考え、表現していく学習のプロセスを大切にする。
- ② 学校教育目標の実現に向けて、協力して教材研究を行い、授業を公開することで互いに学び合い、授業力の向上を目指す。
- ③ 各教科の学習を通じて体験活動や表現活動を充実させていく。
- ④ 学習指導要領に沿って育てたい力を明確にし、その育成を目指す。
- ⑤ 学年ごとに「学び」の視点を持ち、めざす子どもの姿を明確にして取り組む。
- ⑥ 子どもたちの心身を育む食育の推進、及び、病気や怪我の予防等に関する健康教育を推進する。

- ① いじめ・不登校の早期未然防止に努め、チーム体制での対応を行う。
- ② 個に応じた支援を充実させる。
- ③ 全教職員による児童理解の上に立った児童指導・支援の体制を充実させる。
- ④ 保護者や地域の方が話しやすいように心がけ、全教職員で連携して、教育相談体制の充実を図る。
- ⑤ 外部機関等と協力して、児童理解や教育相談を充実させていく。
- ⑥ 挨拶やきまり、社会のマナー等の大切さを知り、進んで守ろうとする子どもを育てる。

- ① 授業参観や学校・学年行事等を公開し、学校ホームページ、学校・学年日より、懇談会等の充実を努め、積極的に情報の発信を行う。
- ② 情報機器等の危険を意識して利用する情報モラル教育を家庭・地域と連携して推進する。
- ③ GIGA 端末の管理やルールの整備を適切に行い、子どもたちが情報機器を活用しやすい環境をつくる。
- ④ GIGA 端末の活用の仕方について、教員間で情報共有し、進んで情報機器を使用できるようにする。
- ⑤ 安全な学校生活を送れるように保護者・地域と連携し危機管理意識を高めると共に、子ども自ら命を守る防災・防犯教育を推進する。

〈1年〉

えがお

自分や友達、周りの人を大好きになって、楽しく笑顔で過ごす。

- ・やさしい言葉で話し、友達と仲良くする。
- ・話をよく聞き、考えて行動する。
- ・何でも挑戦して、最後までがんばる。

〈各学年から〉
【学校教育目標】

考えよう

やってみよう

みんなの本気が

明日への一歩

〈個別学習室〉

〇元気にがんばる子

成功や失敗にこだわらず、自分のできそうなことに挑戦し、最後までがんばろう。

〇友達と協力して学ぶ子

友達と協力して一緒に遊んだり、学習したりしよう。

〈2年〉

2年生学年目標

「ジャンプアップ！」

何ごとにも前向きに取り組み、ジャンプアップする2年生をめざす。

- ・ていねいな言葉づかいをしよう
- ・力を合わせて協力しよう
- ・1年生のお手本になろう

【めざす子どもの姿】

- ・自分も相手も大切にする子
- ・目標に向かって一生懸命に取り組む子
- ・自ら学び、自ら考え、互いに高め合う子
- ・心身共に健康な子
- ・地域のために貢献する子

〈6年〉 学年テーマ

《彩 高 楽 燃》

【彩】一人一人のよさや個性を尊重し合おう。

【高】協力することで、ともに高め合おう。

【楽】何事にも前向きな気持ちで取り組もう。

【燃】やるときは、とことん燃えて本気で取り組もう。

〈3年〉

サンキュー

◆3つのがんばる柱

- ① 言葉で伝えよう
- ② ルールときまりを守ろう
- ③ 助け合い、下級生に優しく

◆「ありがとう」と感謝を伝えられるようになろう。

◆感謝を言われることで自己有用感をもてるように。

〈4年〉

(き) 協力

(あ) 明るく

(い) 一歩ふみ出せ

4年生

- ・進んで運動や学習に取り組み、何事も好きになろう
- ・よく聞き、よく話し、めあてに向かって行動しよう
- ・自分の住んでいる地域とかわり、見方を広げよう
- ・友達のことを考え、仲良く協力し合おう

〈5年〉

未完成

～自分たちを塗り替える～

①塗り替えるための土台

「いじめのない」「優しさ」

「思いやり」「支え合い」

「助け合い」

②塗り替えるためのエネルギー

「あきらめない」「本気」

「全力」「チャレンジ」

③塗り替えた後の自分

「あこがれ」「たよりになる」

「やるべきことはしっかりと」

【校内研究】

「考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩」を体現する子どもたちを目指して
～自分事で考え つなげて 深めて 学び合う～

令和元年度に一新した学校教育目標「考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩」と研究テーマを兼ねることで、教師にも子どもにも目指す姿が明確になるようにしました。サブテーマを「自分事で考え つなげて 深めて 学び合う」とし、昨年度まで国語科の授業を中心に子どもたちの力を育むことを目指してきました。今年度は、探求的な活動（①課題を設定する②情報を収集する③整理分析する④まとめ・表現する⑤新たな課題を設定するという学びのスパイラル）を中心として、課題に対して自分事で考え、子どもたちが主体的に「自分の意見を考え調べてみたい！調べたことを伝えたい！友達の話を知りたい！」と感ずることができるよう授業づくりについて研究し、教師の授業力向上を図ることで、目指す子ども像に近づいていけるように授業実践をしていきたいと考えます。また今年度も、「ひがたかっ子10の聴き方・話し方」を意識しながら「聴く力」「話す力」を大切に、自分の考えを友達の考えなどにつなげ、学び合いながら学習を深めていけるような授業づくりを目指していきたく考えています。また、教師間で情報交換を行いながら、研究を進めていきたいと考えています。

【キャリア在り方生き方教育】

「キャリア教育」とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現すること）を促す教育です。本校では、キャリア在り方生き方教育の目標を設定し、各教科の学習、総合的な学習の時間や学校行事などの学校教育全体を通して必要な資質・能力の育成に取り組んでいきます。

「キャリア在り方生き方教育」を推進している川崎市では、「キャリアノート」の一部を「キャリアパスポート」に小学校1年生から高校3年生まで蓄積するようにし、自己を振り返り将来の生き方を考える一助として活用していきます。

【児童指導・児童支援教育】

☆東高津小学校のすべての児童が、
学校生活を楽しく充実して過ごす
ための取り組みをしていきます。

- ・支援教育コーディネーターは、校内の児童支援活動を進めています。児童の実態把握や保護者との連携、授業の観察を行い、それらの情報に基づいて、担任・学年・養護教諭・学校巡回カウンセラー・コーディネーター等を中心に、全職員でどのような支援ができるか話し合っていきます。
- ・いじめ防止基本方針を策定し、職員で研修して、いじめ防止や暴力行為の未然防止に努めていきます。

【防災教育】 *防災教育では、すべての教科活動を通じて防災対応能力を培っています。

＜防災教育 実際の取り組み一例＞

1. 月に1回程度の避難訓練を実施しています。火災時の出火元の変更や地震のみの訓練、洪水時の授業など様々な場合を想定して取り組んでいます。またそれに合わせて、休み時間等の災害時に子ども一人一人が安全に避難できるよう、避難経路を色別で指示できる環境を整備しており、実際にその避難経路を利用した訓練にも取り組んでいます。
2. 川崎市内に震度5強以上の地震が発生した場合や、その他大きな災害が発生した場合を想定し、保護者の方に協力をしてもらい「災害時引き取り訓練」を行っています。この訓練では、徒歩での来校や、実際の引き取り手順を行う等、実践的な訓練を行っています。
3. 年に数回、下校時刻に合わせて保護者の方にお迎えに来ていただく「お迎えパトロール」を実施しています。これは、気象状況が悪い中での登下校の際、どの場所に危険が潜んでいるかの確認も行っています。
4. 悪天候時等、子ども一人一人での下校に危険の可能性が伴う場合を想定し、「緊急時下校訓練」を実施しています。住んでいる地域によって色分けされたコースごとに教員が付き添い、子どもの安全を確認しながら一斉に下校をする訓練に取り組んでいます。
5. 校内に不審者が侵入した場合を想定した「不審者対応訓練」を実施しています。職員だけで行う訓練を事前に行うことで、正しい行動や知識を身に付けることができるように務めています。また、そこで身に付けた知識をもとに、児童にも正しい行動が取れるように訓練を行っています。

【保健室から】

●本年度の目標

自分のからだに関心を持ち、進んで健康を保とうとする子どもの育成

＜基本的な方針＞

1. 開放的で明るく、心身の休まる保健室にするように努めていきます。
2. いつでも子どもが自分の健康問題の解決のために活用できる健康センター的な保健室を目指しています。

○来室者への個別指導の充実

○保健教育の充実

病気、けがの予防に努める。

○家庭との連携

○組織的な対応

*子ども一人一人の声を丁寧に聴くことに努め、からだだけでなく、心の健康も支援していきます。

【食育（給食指導）】

●本年度の目標

元気で大きくなるために、栄養バランスのよい食生活ができる（自己管理能力）子どもの育成

1. 安心安全でおいしい「健康給食」をつくります。
 - ・給食が“生きた教材”となり、『楽しい給食』となるように、おいしい給食をつくります。
 - ・おいしく減塩をすすめていきます。
2. 「主体的・対話的な深い学び」になるように、健康給食を中心に、特別活動・生活科・家庭科・体育科（保健領域）で食育を実施していきます。
 - ・つながりのある食育のために、全校統一した給食指導を行います。
 - ・授業後には、授業の振り返りなどを通して、家庭と連携を図ります。
 - ・SDGsの目標（3・7・11・12・13・14・15）を達成するために、食品ロスを減らす取り組みをします。